

『改憲阻止プロジェクト・第4回平和研修』を開催！

地本は3月26日に24名の組合員・家族・OBで「改憲阻止プロジェクト・第4回平和研修」を行いました。今回の平和研修は、旧生駒トンネル（1911年～1914年工事期間）跡地を見学し、その後、生駒山を登頂して奈良県生駒市の「宝徳寺」に建立してある「韓国人犠牲者無縁佛慰霊碑」を訪れました。

旧生駒トンネル工事は、大和と河内をまたがる標高642mの生駒山を東西に貫通、大阪と奈良を最短距離で結ぼうと、大阪電気軌道株式会社（現近鉄）が計画し、大林組により工事が進められました。旧生駒トンネル工事では多くの朝鮮労働者が「強制連行・強制労働」させられ、1913年の大崩落事故は、一瞬に153人が生き埋めになり、19人が惨死した事故（「橋のない川」第一部・住井すゑ、参照）です。

「韓国併合」や、日本の植民地政策により故郷を離れ、強制連行で日本へ連れてこられた人達の想いや無念をしっかりと受けとめ、これからも人権・民主主義・平和を求めて職場、地域から闘いをつくり出していきましょう！

参加された組合員・家族・OBの皆さん。平和研修をリードしてくれた仲間の皆さん。お疲れ様でした。



奥に旧生駒トンネル。当時の孔舎衛坂駅跡（くさえざか）。

ひっそりと建つ韓国人犠牲者無縁佛慰霊碑！改めて過去に起きた現実を学びました。

